※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「実践情報Ⅰ」　（開隆堂出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

以下のことを、この授業でやってみよう。
- 正しい情報を収集して加工し、分かりやすく人に伝えてみよう。
- 問題を発見して課題を設定し、解決するために粘り強く取り組んでみよう。
- コンピュータを使って、シミュレーションやプログラミングを体験しよう。
- SNS などのコミュニケーションがなぜできるのか、その仕組みを知ろう。

２　学習の到達目標

●コンピュータの基本的な仕組み及び社会における情報ネットワークの役割を、知識として理解する。
●課題を解決するために思考し、情報機器を活用して表現する。
●様々な情報に接して、解決すべき課題を見つける意欲を持つとともに、情報化社会の主体的な参画者として、望ましい態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①　情報の特徴と、情報の適切な収集、整理・加工、表現のしかたを理解している。 ②　情報関連の法規を理解している。 ③　通信インフラとしての情報ネットワークの全体像を理解している。 ④　“モデル化とシミュレーション””アルゴリズムとプログラミング”の概念を理解している。	①　発表する際には、発信者として、受信者にとって分かりやすくするために、情報の伝え方を工夫している。 ②　コンピュータのソフトウェアを使って、適切にモデル化やシミュレーションができる。 ③　日常生活における行動パターンを、フローチャートで表現することができる。 ④　課題解決に用いるデータの取捨選択が適切である。	①　各種の情報が自身の生活に果たしている役割に関心を持ち、より良い社会にするために自身で設定した課題に積極的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会と法律	① 身の回りの問題に関心を持ち、取り組む課題を考える。 ② 課題の解決に向けて計画を立てる。 ③情報に関する権利や法について考える。	a: 解決すべき課題を見つけられる。 b: 計画を立案し、実行できる。 c: 決まりごとを守る態度を持っている。	・小テスト ・プリント・ ・定期考査	・プリント ・発表 ・定期考査	・授業観察 ・発表 ・定期考査
	モデル化とシミュレーション	①コンピュータの基本的な構成や情報を処理するしくみを理解する。 ② モデル化の必要性や分類を理解する。 ③シミュレーションの必要性や方法を理解する。	a: モデル化の役割や方法をを理解している。 b: モデルを使ってシミュレーションができる。 c: 課題に熱心に取り組んでいる。	・小テスト ・プリント・ ・定期考査	・プリント ・発表 ・定期考査	・授業観察 ・発表 ・定期考査
後期	プログラミング	①プログラミングとアルゴリズム、それを表現する方法を理解する。 ② 家電製品等がどんなプログラムで動くのかを考える。	a: アルゴリズムを理解している。 b: フローチャートが書ける。プログラムを書ける。 c: 課題に熱心に取り組んでいる。	・小テスト ・プリント・ ・定期考査	・プリント ・発表 ・定期考査	・授業観察 ・発表 ・定期考査
	安全と情報	①情報通信ネットワーク及び情報システムのしくみを理解する。 ② 情報の安全を守るための考え方と技術。	a: 情報システムやネットワーク、などについて理解している。 b: 結論を得るために最適なデータを選択している。 c: 課題に熱心に取り組んでいる。	・小テスト ・プリント・ ・定期考査	・プリント ・発表 ・定期考査	・授業観察 ・発表 ・定期考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度